

富医ニュース

No.598 令和3年7月1日

一般社団法人 富田林医師会
会長 宮田 重樹
〒584-0082 富田林市向陽台1丁目3-38
TEL.(0721)29-1210 FAX.(0721)28-0858
E-mail: mail@tondabayashiishikai.jp

新型コロナウイルスワクチン集団接種 ご協力をお願い

4月13日より4市町村主管、医師会協力のもとに開始となり、加速度的に進行中です。現在65歳以上の高齢者を中心にPL教団錬成会館にて実施されておりますが、さらなるスピードアップのため河南町、太子町、千早赤阪村にてサテライト方式の集団接種が実施されることになりました。

- ☆河南町 7/17(土)・18(日)・20(火)・22(木・祝)・
25(日)・29(木)【ぷくぷくドーム】
8/9(月・祝)・21(土)・22(日)・26(木)・
28(土)・29(日)
- ☆太子町 7/10(土)・11(日)・15(木)・23(金・祝)・
24(土)【万葉ホール】
8/7(土)・8(日)・14(土)・15(日)・19(木)
- ☆千早赤阪村 7/3(土)・4(日)・31(土) 8/1(日)
【くすのきホール】

【接種券交付対象者】

町村に住民票のある高校1年生相当から令和3年度末年齢64歳の方(昭和32年4月2日～平成18年4月1日生まれの方)

※国が対象としている平成18年4月2日～平成22年3月1日生まれの方については、今回の集団接種の対象とせず、今後、同年齢におけるワクチン接種に関する情報収集を行い、接種体制を含め、実施について検討する予定です。

※基礎疾患などの優先接種対象者の予約を先行して受け付けますが、接種会場では優先接種対象者と一般対象者を区別なく同時に接種できる体制としました。

※未成年者の方は、接種当日に可能な限り保護者の同伴をお願いします。

今後さらなるハイペースでの接種が必要となり、医師会員総ての力が不可欠です。お一人でも多くの先生方のご協力をお願い申し上げます。(富田林市に関しましては引き続き8月からもPL教団錬成会館にて接種続行となります。)

すでに6月24日現在、約41,000回の接種が完了しております。

令和3年6月定例理事会

日 時 令和3年6月11日(金) 20:30より
場 所 医師会 研修室

協議事項

- 1) 入退会の件

報告事項

- 1) 健康保険被扶養者の新型コロナワクチン接種業務に従事したことによる一時的な収入増加の取扱い
- 2) コミナティ筋注添付文書の改訂
- 3) 富田林市福祉医療制度の改正について
- 4) 新型コロナウイルスワクチンの時間外・休日の接種について
- 5) 富田林市情報公開・個人情報保護運営審議会委員の推薦について 堀野先生
- 6) 地域医療支援病院運営委員会のご案内 6/16 藤岡先生
- 7) 富田林保健所管内健康危機管理関係機関の連絡リスト 赤松先生
- 8) 千早赤阪村要保護児童対策地域協議会代表者会議の書面開催 藤岡 洋先生
- 9) 富田林市DV対策連絡協議会代表者、実務者の選出 児嶋先生 福田先生
- 10) 第319回大阪府医師会定例代議員会 6/24 堀野先生 児嶋先生
- 11) 第1回郡市区医師会学校保健担当理事連絡協議会 府医 7/8 福田先生
- 12) 富田林市保健事業推進協議会委員の推薦 赤松先生
- 13) 千早赤阪村学校給食食物アレルギー対応検討委員会委員の推薦について 大澤先生
- 14) 糖尿病重症化予防(藤井寺保健所) 6/14 藤岡 洋先生

富田林医師会学術講演会 【Web講習会(ZOOM)・座学講習会】

日 時 2021年7月15日(木) 14:00～15:00
会 場 ①富田林医師会 研修室
②Web配信(ZOOMウェビナー) 13:30より
アクセス可能です。

【特別講演】

座 長 明石整形外科クリニック 明石 健一 先生
「更年期女性に多い手の痛み・しびれ
-エクオール産生能とサプリメントの可能性-」
講 師 和歌山県立医科大学形成外科講座
講師 下江 隆司 先生
整形外科診療において手のしびれ・疼痛は代表的な症状であるが、特徴的なことは、これらの症状で受診される方の多くが更年期世代の女性ということである。近年、

女性の手疾患に対するエクオールの効果が目ざされている。我々は一般住民ボランティアを対象にエクオール産生能の大規模疫学研究を実施し、年齢階級および性別の産生能有無を調査した。また、整形外科を受診された自験例について、疾患ごとにエクオール摂取の有効性を調査した。対象疾患は狭窄性腱鞘炎、絞扼性神経障害、手指の変形性関節症などである。手の症状、その他の更年期症状の改善有無、また改善時期を検討した。本講演では以上の調査から得られた知見について紹介する。

※本会は生涯教育制度1単位が取得できます。(カリキュラムコード:61【関節痛】・63【四肢のしびれ】)
日本医師会生涯教育講座認定単位については、web受講の場合にも、医籍登録番号等が必要となります。

専 門 医 よ り 一 言



「日常診療で遭遇する
慢性疼痛の管理について」

近畿大学麻酔科学講座 岩元 辰篤 先生

慢性疼痛は、平成19年の国民生活基礎調査では、受診頻度の高い上位5疾患に腰痛症、肩こりが含まれ、慢性疼痛の有病率は全成人の22.5%、推定患者数は2,315万人と報告されています。また、慢性疼痛は、生活の質を低下させ、就労困難を招くなど、社会的損失も大きいとされています。

慢性疼痛の定義として、急性疾患の経過あるいは創傷治療に要する時間を超えて持続する痛みと定義され、臨床的には、痛みの持続期間が3~6カ月以上とされています。慢性疼痛を来す疾患としては、筋骨格系疾患や術後痛、がん性疼痛、頭痛や三叉神経痛、神経障害性疼痛、線維筋痛症や複合性局所疼痛症候群(CRPS)など多種多様です。

今回は、慢性疼痛の総論と各論として日常的に遭遇しやすい疾患の頭痛、肩こり、腰痛と帯状疱疹や糖尿病に関連する神経障害性疼痛、初期治療を間違えると悪化するCRPSを中心に紹介させて頂きました。

慢性疼痛は、長期化すると心理社会的な要素が少なからず関与し、痛みの強さや訴え方が修飾され日常生活に支障をきたしてきます。更には、我々が治療介入しても、痛みが完全に消失するということは困難であることが多い痛みです。そこで治療目標としては、痛みを0にするのではなく、痛みと上手く付き合いながら患者の生活の質を向上させ、痛みで何かができない状態を少しでも改善していくことを患者・治療者の両者の目標とすることが大事であると思われます。しかし、痛みの治療をしていたら、感染や悪性腫瘍などのRed Flag疾患に遭遇することも少なくありません。最近では慢性疼痛の治療法も多様化し、神経ブロックや心理療法など多面的な治療も必要とされています。生活支障をきたしているような痛みに対しては、早期介入が必要であり、我々専門医への紹介を考慮して頂けると幸いです。そして、患者主体に地域の先生方とともに患者の自立を支える医療を実践していきたいです。

調 整 日

6月分
7月8日(木)
PM3:00まで

7月分
8月6日(金)
PM3:00まで

7 月 の 予 定

1日(木)・休日診療委員会
8日(木)・調整日
9日(金)・理事会
15日(木)・学術講演会(座学・WEB)
26日(月)・広報調査委員会
27日(火)・休日診療委員会
・感染症対策委員会は中止
28日(水)・広報調査委員会(校正)

6 月 行 事 ・ 会 合

1日(火)・休日診療委員会
8日(火)・調整日
11日(金)・理事会
21日(月)・訪問看護ステーション運営委員会
22日(火)・広報調査委員会
24日(木)・学術講演会(ZOOM)
25日(金)・広報調査委員会(校正)
29日(火)・休日診療委員会

○会員数(7月1日現在) 179名

A会員 94名 B会員 85名

- 入会 なし
- 退会 なし
- 異動 なし



広 報 調 査 委 員 会

委員長	齊藤 謙介	副委員長	森井 秀樹
委員	青山 賢治 植村 匡志 尾多賀雅哉 藤岡 洋	天城 完二 江村 俊也 遠山 佳樹 山本 善哉	今城 幸裕 奥野 敦史 中村 元 山本 秀文